

2026年2月20日 版数2

当院 眼科 で  
未熟児網膜症の治療を受けた患者さんへ  
( 臨床研究に関する情報 )

当院眼科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

**【研究課題名】** 未熟児網膜症に関する後ろ向き観察研究

**【研究実施体制】**

≪研究代表機関・研究代表者≫

奈良県立医科大学 眼科学教室 西 智

≪共同研究機関≫

滋賀医科大学：データ収集

兵庫医科大学：データ収集

久留米大学：データ収集

徳島大学病院：データ収集

市立札幌病院：データ収集

筑波大学：データ収集

福井大学：データ収集

秋田赤十字病院：データ収集

産業医科大学：データ収集

関西医科大学：データ収集

≪研究事務局≫

奈良県立医科大学 眼科学教室 西 智

**【研究の目的】**

未熟児網膜症を発症し、治療を要した症例と軽症例の網膜構造の成長過程を比較検討することで、病態の解明や、治療における注意点や治療の適切な実施時期を検討します。

**【研究の方法】**

- 対象となる患者さん

2012年4月1日から2019年12月31日までに当院眼科で未熟児網膜症と診断された患者さん。本研究の対象者数は、研究全体で200名、本院では40名を予定しています。

●診療録（カルテ）から利用する情報

年齢、性別、視力、眼圧、病型、出生時週数、体重、治療方法、網膜厚、脈絡膜厚、網膜光凝固術治療の有無と回数、硝子体内注射の有無と回数、硝子体手術の有無と回数を使用します。いずれも通常の診療の際に得られた情報で、この研究のために特別な検査は行いません。

研究期間は2035年12月31日までです。共同研究機関で収集した情報は、研究代表機関の奈良県立医科大学 眼科学教室へ提出し、解析を受けます。本院での利用開始日は、所属機関長の許可日からです。

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、本院において患者さんの氏名や住所などを研究対象者ID等に置き換える加工を行い提出します。各共同研究機関より提出された情報は、研究代表機関で集計され、解析されます。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【情報の管理・保存について】

収集した情報は、研究代表機関および各共同研究機関で適切に保管されます。保管期間は研究終了後、5年または学会や論文などの最終公表日から3年のいずれか遅い日までです。保管期間終了後は、復元可能な状態で廃棄します。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

本研究における特別な研究資金はありません。本研究は、本院の研究費のみを使用して実施されます。本研究の利害関係については、臨床研究利益相反審査委員会の審査を受け、承認を得ています。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関する研究データを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

当院担当医師：篠原輝実

〒770-8503 徳島県徳島市蔵本町2丁目50-1 徳島大学病院 眼科

電話 088-633-7163

研究責任医師：西 智 奈良県立医科大学 眼科学教室